

地球温暖化防止

環境保全中期計画に基づき、地球温暖化防止に向けた温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

2006年度の目標

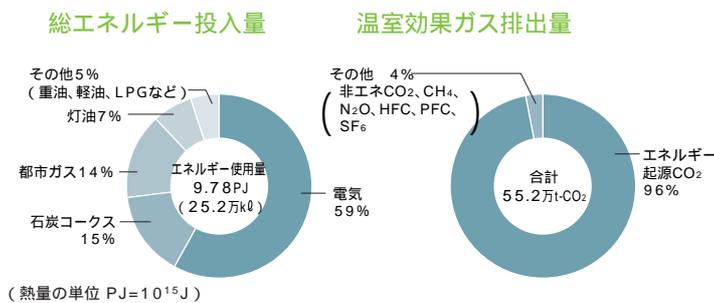
- ・ CO₂排出原単位 (CO₂排出量 / 内作生産高)..... 2004年度比 2%削減
- ・ 物流CO₂排出原単位 (CO₂排出量 / 輸送トンキロ)..... 2004年度比 2%削減

2006年度の実績

目標達成状況

2006年度におけるCO₂排出原単位は、2004年度比8%削減となり、目標を達成しました。しかし、物流のCO₂排出原単位は、2004年度比3%増加し、目標を達成できませんでした。

総エネルギー投入量と温室効果ガス排出量



2006年度の総エネルギー投入量は9.78PJ、温室効果ガス排出量は55.2万t-CO₂となりました。

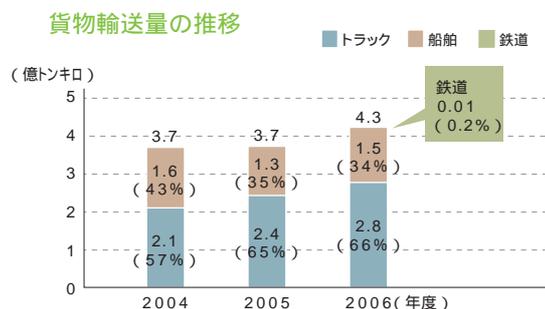
使用したエネルギーの種類では、電気が最も多く、全体の約6割を占めています。また、排出した温室効果ガスについては、そのほとんどをエネルギー起源CO₂が占めています。

クボタグループでは、従来から省エネ活動による温室効果ガスの削減に取り組んでおり、2006年度における

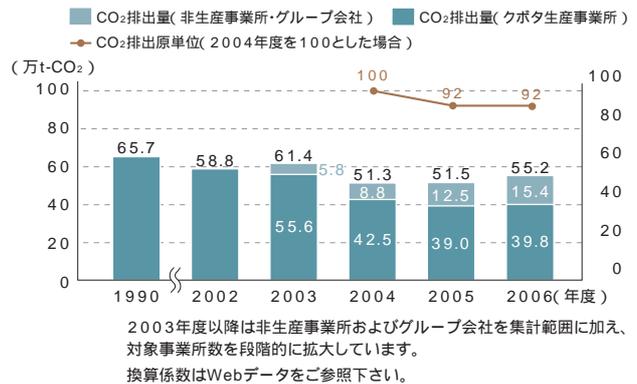
物流におけるCO₂排出量 (荷主としての貨物輸送量とCO₂排出量)

2006年度の国内における荷主としての貨物輸送量は4.3億トンキロで、その貨物輸送によるCO₂排出量は4.8万t-CO₂となりました。また、CO₂物流排出原単位は、2004年度比で3%増加しました。

クボタグループでは、従来からモーダルシフト、貨物輸



温室効果ガス排出量とCO₂排出原単位の推移



温室効果ガス排出量は1990年度比で16%削減、CO₂排出原単位は2004年度比8%削減となっています。

2006年度はエネルギー起源CO₂以外の温室効果ガスを新たに算定対象に加え、また海外子会社の集計対象範囲をさらに拡大したことにより、温室効果ガス排出量が昨年度に比べ7%増加しています。

物流CO₂排出量と排出原単位の推移

